

日	曜	3月の行事予定	給食
1	金		○
2	土		
3	日		
4	月		○
5	火	1,2年生代休, 公立高校一般選抜(~6日)	
6	水	式場準備, ⑤⑥1,2年実力テスト	○
7	木	卒業式予行, ①④⑤1,2年実力テスト	○
8	金	卒業式	×
9	土		
10	日		
11	月	生徒会専門委員会	○
12	火		○
13	水	ノ一部活デー, 質問教室	○
14	木	職員会議	○
15	金		○
16	土		
17	日		
18	月		○
19	火	学校安全の日	○
20	水	春分の日	
21	木		○
22	金	修了式, 離任式	×
23	土		
24	日	とくしまマラソン	
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

【4月の主な行事予定】

4/8(月)1学期始業式, 4/9(火)入学式(午後), 4/10進級テスト,
4/12(金)身体計測, 4/19(金)~24(水)個人懇談, 4/25(木)県ステップ
アップテスト, 4/28(日)授業参観・PTA総会

一年を締めくくる月になりました

年が変わってからの3ヶ月を, 1月は「行く」, 2月は「逃げる」, 3月は「去る」とよく呼びますが, その言葉通り, 3学期もあっという間に最後の月となりました。

今年は3月20日が春分の日です。春分の日というと、「昼と夜の長さが同じになる頃」というイメージをもつ人が多いと思いますが, 実は「自然を称え, 将来のために努力する日」と定められているそうです。春分の日は, 「未来のために努力」する日であるとも言えます。

中学生になって11ヶ月。どんな月日だったでしょうか? うまくいったことや失敗したことなど, いろいろあったことでしょう。自分の生活を振り返って, これから迎える2年生ではどんな1年にしたいか考えてみましょう。将来(未来)のためにできることを見つけて, まずはやってみる, そんな新たな一歩を踏み出す準備の月にしてほしいと思います。

「学校は4月始まり」が当たり前, なぜ?

学校も会社も, 新年度は4月から。年度始まりってどうやって決めたのでしょうか。

歴史をさかのぼると江戸時代の学校は「1月に始まり12月で終わる」暦通りの一年を過ごしていました。ところが時代が明治になると, 政府は税金(年貢)をお米で納めるのではなく, 現金で支払う制度に変えたんです。そうなる江戸時代より税収の時期が遅れてしまい, 1月までに各種清算や給料の支払い, 次年度の予算編成が間に合わなくなり, さあ大変! 窮地に立たされた明治政府が思い付いたのが「年度始まりを変える!」でした。その頃世界一の経済大国だったイギリスにならって, 日本も4月始まりにしたという説もありますが, 後に徴兵令が改正されて徴兵対象者の届出が4月締切になったのを受け, 学校も4月始まりになったといわれています。まさか年度の始まりが大人の事情によって変えられていたとは。

ちなみに世界に目を向けてみると, アメリカやヨーロッパ諸国, ロシア, 中国など大多数の国が「9月始まり」だそうです(州や地域, 学校によって異なる場合もあります)。会計年度は日本と同じ4月始まりのイギリスも, 学校は9月始まりとか。国際基準に合わせて, 日本でも学校を9月始まりに変えようという動きもあります。そのうち桜ではなく紅葉の季節に入学式……なんて時代が来るかもしれませんね。

保護者の皆様へ

早いもので, 1年生も最後の月を迎えました。行事等も再開できるようになり, 皆様にはいろいろとご協力をいただく機会も多かったかと思います。本当にありがとうございました。また, 来年度も引き続きよろしく願いいたします。